

講義名	業界研究（物流）/企業論特別講義（物流）			授業形態	
担当教員	田中 康仁	開講期・曜日・時間	後期 木曜日 3時限		
		単位数	2	履修開始年次	2年生

**主題と概要**

本講義では、様々な業界・企業で活躍しておられる実務家を特別講師として招聘し、経済・経営活動についての現状分析、基本的な考え方、将来展望等に関する講義をいただく。直接に実社会で活躍される方々と接することにより、勉学の進化を図るとともに、社会人となるための基礎知識や考え方を学ぶ。また、「講義を聞き、考え、自分なりにまとめる」という体験を通して、社会における学びの方法を知ることを目指す。

**到達目標**

業界や企業の現状、今後の課題や将来展望、ビジネス社会における心構えなど、実社会・ビジネスの動きや考え方について、実感を持って理解できるようになる。実社会・ビジネスの世界において、社会人に何が求められているのかを認識できるようになる。社会における学びのあり方や姿勢や方法を会得できるようになる。

**提出課題**

講義日の2日後16:00までに事後レポートを提出すること（提出期日厳守）。レポートの提出を以って出席とする。（但し、レポートの内容が粗悪なもの、また所定の様式以外で提出されたものは出席として認めない）

**課題（レポートや小テスト等）に対するフィードバックの方法**

講義内での解説は難しいため、ポータルを通じて講評を行う。

**評価の基準**

授業への参加度・貢献度（出席、毎回の講義後に作成するレポートの内容、講義での質疑への参加）、受講態度等を総合的に勘案して評価する。次の者は単位を認めない。  
 ・5回以上欠席した者。  
 ・私語、遅刻り等、受講態度が悪い者。  
 ・レポート内容が粗悪なもの。

**履修にあたっての注意・助言他**

特別講師や日程は、掲示板で発表するので常に注意すること。社会人となるにふさわしい態度と心構えで受講すること。遅刻（時間開始後の入室）は認めない。また、私語、遅刻り、不要な入室は、もちろん厳禁である。以上も含めて、講義の進め方や受講ルールあるいは評価方法に関する詳細の説明・確認を初回の授業に行うので、受講者は初回の授業から必ず出席すること（初回講義の出席の有無に関わらず、初回講義に確認・決定的約束事項は全体の約束事項として適用する）。講義にあたっては、講師に対する質問を考えた上で臨むこと。

**教科書**

.使用しない。					
---------	--	--	--	--	--

**参考図書**


**その他**

適宜、配布及び紹介する。

**授業計画**

第1回：ガイダンス（受講の心構え、授業内容、ルールの説明と設定、講義予定企業名・日程）  
 第2回～14回：特別講師による講義（ガイダンスの時に説明します）  
 第15回：まとめ

**授業形態（アクティブ・ラーニング）**

ア：PBL（課題解決型学習）	イ：反転授業（知識習得の要素を授業外に済ませ、知識確認等の要素を教室で行う授業形態）
ウ：ディスカッション、ディベート	エ：グループワーク
オ：プレゼンテーション	カ：実習、フィールドワーク
キ：その他（A-L型であるけども、以上の項目のいずれにも該当しない場合）	

**準備学修（予習・復習等）の具体的な内容及びそれに必要な時間**

基本的に毎回実務者による授業である。したがって、授業の前に講義担当者の企業について下調べをする（1時間）。講義終了後のレポート作成を復習とかねて行う（各3時間）。

**卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連**

商学部DP「供給者と生活者の複眼的視点に立ち、マネジメントの諸問題を解決できる人材を育成」に対して、本科目の到達目標である実社会で活躍される方々に直接接することにより、勉学の深化を図るとともに、社会人となるための基礎知識や考え方を学ぶことは有益である。  
 経済学部DP「経済学の知識を幅広く修得し、総合的考察と情報処理能力に秀でた人材を育成」に対して、本科目の到達目標である実社会で活躍される方々に直接接することにより、勉学の深化を図るとともに、社会人となるための基礎知識や考え方を学ぶことは有益である。  
 人間社会学部DP「肩やサービスの流通に関わる社会の構造と変動、およびそれをもたらす人間の行為・行動を解き明かすことができる人材を育」に対して、本科目の到達目標である実社会で活躍される方々に直接接することにより、勉学の深化を図るとともに、社会人となるための基礎知識や考え方を学ぶことは有益である。

**双方向授業の実施及びICTの活用に関する記述**

**実務経験の有無及び活用**

**備考**